

東雲(しののめ)

vol.59(300)

元旦早々に起こった能登半島地震の緊急地震速報にびっくりしたところから、2024年がスタートしました。既に大きな災害で始まった2024年ではありますが、これ以上は何も起こらないことを願って、この後が平穏な一年になってくれれば良いと思います。

受験生にとっての1月は、大学共通テストから始まって、私立高校の推薦入試・専門学校の入試・私立高校の一般入試と続きました。この後は、大学入試に公立高校の入試と佳境に突入していきます。私たちは引き続き、一人一人が自分の進むべき道・目標に向かって突き進めるように応援していきます。左の写真は、もう何年も前から私とその年の受験生のために作り続けてきた「待ち子ちゃん(正式の名称は、幸せ待ち子ちゃん)」です。その名の示すとおり、みんなのもとに幸せが届くように期待して渡しています。「あっ!、私も欲しいな・・・」そんな素敵な思いを抱いた良い子(笑)は、受験生になるまで待ってくださいね。その時は、もれなくお好きな一人を進呈いたします。受験生になるのが待ち遠しくなりませんか?(笑)

さて、話をもとに戻して・・・これからは、入試はあくまでも点取り競争だという事を忘れずに、絶対に間違えてはいけない問題・合否の分かれ目になる問題・難しいから手を付けてはいけない問題などを選択できる目や技術を一緒に磨き上げていきましょう。



そして、今年度の公立高校入試について。先日、今年度の各公立高校の志願者数の発表があり、倍率が判明いたしました。この手紙の中に各高校の志望者数と倍率をまとめた表を入れてありますので、気になる人は確認しておいてください。全ての高校について掲載しているわけではありませんので、表に書かれていない気になる高校があれば、別途尋ねてください。それぞれ自分の志望する高校の倍率が気になるのは当然のことではありますが、単純に昨年の数字との比較だけで一喜一憂しないように! みんな、自分の持てる実力が発揮できれば大丈夫なのですから。それよりも残された少ない日をしっかり過ごすことを心掛けましょう。

毎年書いていることではありますが、これらの発表された倍率の数字は、実際の倍率よりも高い数字です。実際は、第二志望を志望している人が第一志望の高校に合格した



場合、第二志望の高校は受験をしていない扱いになりますから総志望者数が減ることになります。したがって、第二志望者数が多い高校ほど実質の倍率は下がるということになります。だからといって安心して羽を伸ばしてもいいと言うわけではありませんので、勘違いはしないように!! どちらにしても、最後まで気を抜かないように。



ちょうど入試の時期とも重なって、受験生では無い人たちの学年末試験も各学校で2月の下旬から始まっていきます。今回の学年末テストは、前回の定期テストから期間が離れていますのでテスト範囲が結構広くなっており、提出しなければいけない課題もたくさんありそうです。課題を終わらせてから、その中身をどこまで煮詰めることができるかで結果は大きく変わってきます。今学年の総まとめのテスト、しっかり準備しましょう。

3月に学年末テストがある人もいますが、その人たちが自分のテストまで頑張ってもらうのは当然のこととして、2月は今学年の総まとめを行って、3月は来るべき新学年の準備をするのにあてるのが、この2カ月の理想的な過ごし方。みんながよい2カ月を過ごすことができますように！

今年も成人の日を迎えて、立派な成人となった人たちが塾に顔を出してくれました。彼らが顔を出してくれた時間が早かったせいか？ みんなが恥ずかしがって塾に顔を出してくれる時間が遅かったせいか？ 今の塾生と一緒に写真に入ることが出来なかったのは残念でしたけれど(笑)...

思えば、彼らが中三生だった時に入院して、高校受験のときにそばにいてあげることが出来なかったんですね。あれから5年、時の流れの速さを改めて感じます。そして、今の私はおかげさまで、すごく元気です。

